

みなさんこんにちは、いつも白衣の恵子先生です。先週の3連休は各市町で『二十歳の集い』が行われていました。今まで中学校3年生の時の担任ということで呼ばれることが多かったのですが、今年は着物を着た娘を送り届ける役目を頑張りました。ミニバスのコーチに晴れ着姿を見せに行ったり、中学校の女バスで集まった集合写真を監督に写メしたり、そのうち高校の監督からお祝いのメールが届いていたり・・・たくさんの方からお祝いされるとともにお世話になった方々に感謝の気持ちを届けた1日でした。3学期のテーマ『感謝の気持ちを届ける』はこの季節だからこそなんですね。みなさんは『1/2 成人式』をするのかな？1/2 ですから、20歳の半分ということで10歳の節目ということでしょうか。日本では1歳で一升もちを担ぎ、3歳・5歳・7歳で七五三と折に触れて子供の成長をお祝いする風習があります。戦前までの日本は平均寿命は50歳未満、昔は子供の死亡率が高かったため、命あることに感謝していたのかもしれませんが。今でも健やかな成長を願ってお参りしますよね。さて、10歳を迎える皆さんは、今ある健康な体に感謝し、10年後の自分がどんな大人になっているか想像してみてくださいね。

今週は避難訓練から始まりました。昨日の〇〇先生の振り返りにあったように、一番大切なのはみなさんの命です。2011年3月11日(今から14年前)東日本大震災はマグニチュード9.0、ここ壬生町でも震度6強の揺れで校舎の天井が落ちたり、校庭に地割れが起きたりしました。何度も繰り返し起こる余震で下校の途中に建物の下敷きになっては大変と、保護者への引き渡しによる下校になりました。家に帰っても大きな揺れで家の中はぐちゃぐちゃだったり、電気がつかなくなったり、不安が消えることはありませんでした。更には予想をはるかに超える大津波で福島県の原子力発電所はメルトダウンし、放射能汚染により立ち入り禁止区域も生まれました。昨日はまだ一緒にいた友達が今日は隣にいない・・・震災から2年後、福島県南相馬市の子どもたちが東日本大震災によって避難を余儀なくされ、離ればなれになってしまった仲間を思って、つぶやいたり、書き留めたりした言葉をつむぎ、中学校の先生が合唱曲を創りました。今日はその曲『群青』を聴いてください。

♪あの日見た夕日 あの日見た花火

いつでも君がいたね

当たり前が幸せと知った

♪響けこの歌声

響け遠くまでも あの空の彼方へも

大切な全てに届け

♪きっとまた会おう

あの街で会おう 僕らの約束は

消えはしない 群青の絆

曲を聴きながらとても仲良しの友達の顔が浮かんできましたか？幼馴染みの子の顔が浮かんできましたか？先生はこの曲を聴くと、担任をしていた時の子供たちがいた教室の風景を思い出して、ちょっとウルウルしちゃいます。

♪また会おう 群青の街で♪ この歌詞には、もう会えなくなってしまった友への想い、故郷での再会を決意する想い、会えなくともつながっているという友への想い、そんな様々な想いが込められています。

今年、娘の成人式で5年ぶりにママたちも集まることができました。40代50代60代になっても元気に。命あるからこそその幸せです。みなさんの命は、自分だけのものではなく、家族や友達、みなさんと関わったすべての人々の幸せとつながっています。大切に大切に育てていってくださいね。

それではまた来週、元気に登校して下さい。See you next week! Have a nice weekend!!